

# Rotary Club of SUGITO

## 杉戸ロータリークラブ週報

2007～2008年度 RIのテーマ  
ROTARY SHARES

会長 下津谷忠男 幹事 田中昌夫



第1885回例会 (2007年8月7日)

点鐘

下津谷会長

ロータリーソング

君が代、奉仕の理想

四つのテストの唱和

中島会員

結婚祝、誕生祝

本多会員



今月の誕生祝は新井会員、落合会員、野口会員、結婚祝は中村会員です。おめでとうございます。

会長挨拶

下津谷会長



5日、流灯祭の「杉戸RCお休みどころ」設置に際して、場所を提供された新

井さん、テント・机・椅子・看板等を用意設営された井上さん、合鴨を半額で提供された武井さん、お酒差し入れの関口さん、そして奥様まで動員して準備された渡辺良一委員長、担当の本多さん、直前会長の仁部さん、ヤキトリを一所懸命焼いてくれた中村さん、田中幹事他関係各位に心から感謝申し上げます。有難うございました。

さて、本日は川北義則著の「男の品格」より「異性とのつきあいが若々しさを保つ」と言う部分を紹介したいと思います。異性については、こんな言葉がある。「男と交際しない女は少しずつ色あせる。女と交際しない男は少しずつバカになる」異性とつきあうことで、お互いに緊張するから、立ち居振る舞いにも気をつけるようになる。おしゃれにも気をくばる。そんな神経の使い方が、いつまでも若々しさを保つことにつながるのだ。精神科医の斉藤茂太さんが、長寿を保っている人たちを観察し、長寿を保てる人の特徴として「心に余裕のある人々である」と結論づけていることも興味深い。斉藤さんは心の余裕を、具体的にどういうものかを次のように述べている。「具体的にいえば、人づきあいがうまい。つまり友人が多いこと。絶えず前向きな姿勢をもっていること。本業以外の趣味をもっていること。他人のせいにしないこと。好奇心が旺盛なこと。ストレスを恐れず、むしろ楽しむこと。仕事と道楽と心得ること。ユーモアを忘れないこと。何事も後悔しないこと」さ

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場：埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360

らに、そのためにどうしたらいいかの処方箋として、STRESS（ストレス）の六文字で表現して次の項目を挙げている。

- S・・・スポーツ
  - T・・・トラベル（旅行）
  - R・・・レクリエーション
  - E・・・イート（食べることを楽しむ）
  - S・・・スリープ（よく眠る）
  - S・・・スマイル（笑う患者ほどなおりが早い）
- どれも楽しむこと、遊びに通じることばかりである。

### 理事会報告

田中幹事

- ① 今年度予算案については承認されましたので、皆さんのお手元の案を消して下さい。
- ② 8月、9月のプログラムについては変更ありません。

### 幹事報告

田中幹事

- ① ガバナー事務所より中越沖地震義援金のお願いが来ております。
- ② ガバナー事務所より「クラブ棚卸マニュアル」と「クラブ棚卸書」が届いております。
- ③ レディース増強フォーラムのご案内が来ております。  
場所 大宮サンパレス  
日時 平成19年9月21日（金）18:00～  
登録料 一人7,000円
- ③ 第2770地区GSEサンパウロチーム派遣生募集についてが来ております。

### 委員会報告

#### 親睦委員会

本多会員



流灯祭の時に行われました「中越沖地震義援金」ですが、32,645円集まりましたので、早速埼玉新聞社を通して送りたいと思います。ご協力有難うございました。

### 雑誌紹介

関口会員



まず横の6Pには2007年RI国際大会「夢は実現できるもの」という記事が載っております。基

調講演でボイドRI会長は、「私は夢が実現するということを信じています。ロータリーというのは、それを実現しているのだと思います。一人ひとりが夢をもち、そして、ほかのロータリアンの夢を実現するためにも働くのです」と述べ、そして「私たちは120万人という数が集まったグループではなく、120万人の個人個人の集まりだということです。120万の夢をもった、120万人の人たちが、その夢を実現するために働けば、そこにパワーが生まれ、それがロータリーとしての大きな貢献と夢につながるのです」と話を結びました。

次に「ロータリーに出合って人生が変わった」ということを紹介しています。若いときにロータリーに出合ったため、人生が変わったという体験談にはいつも感動します。ロータリアンたちの努力の成果が実感できるからです。第2日の本会議では、そういった体験談を聞くことができました。ジェニー・ホートンさんは、17歳のときに青少年交換学生としてオーストラリアからアメリカに留学しました。このときの出会いは彼女と家族の人生をロータリーと切ってもきれないものにしました。ホートンさんは初めての異国での生活に戸惑いや驚きを経験します。アメリカ人たちも初めて受け入れるオーストラリアの少女が自分たちと同じであることに驚いたり、違うとことに戸惑ったりします。しかし、それが縁で、彼女の父親や弟がロータリアンになるなど、彼女とロータリーの縁が続きます。夫もまたロータリアンであったものの他界、その後、彼女自身がロータリアンになり、自らの職業を生かし、ポリオの撲滅の活動に取り組むこととなります。この貢献により、ホートンさんには「超我の奉仕賞」が贈られました。

同じく横の33Pの掲示板には新クラブの紹

介ということで、神奈川RCと神奈川西RCが合併して会員数 54 人の新クラブが出来たということで載っております。また、横のページの最後にはロータリーの基礎知識（日本編）が載っておりますので、是非お読み下さい。

縦の2PにはC・W・ニコルさんの「人と地球の命のために」という講演の要旨が載っております。今、私たちにできることということで「日本の森の木々の多様性はすごいものです。私が育てている黒姫にある小さな森には、もともとあった種類のものだけでも、70種類の木があります。木の種類が多いということは、昆虫の種類も多いということです。鳥が多い。日本は、生物の多様性がものすごく豊かな国です。しかし、日本の原生林がのこっているのは2%以下です。そして、今も切っています。これから日本はどうすべきなのか。日本のあり方を考えましょう。日本は森と水の国なのです。森を復活しようよ。植えばなしの山を健康的にしようよ。クマが里に下りてこなくていい森にしよう。植えばなしのスギ、カラマツを手入れして、もっといい材を育てましょう。サケ、イワナがいる川を、現代の技術とノウハウで復活しようよ。」と述べています。また、この言葉が印象に残りましたので紹介します。「西洋には《ノーブレス・オブリージ noblesse oblige》と言う言葉があります。高い地位に伴う、道徳的・精神的義務と言う意味です。貴族やインテリやちょっと力のある人が、自然と文化を守ることは当たり前です。」ということです。

同じく縦の7Pには「壱岐ロータリークラブ」の紹介が載っておりますし、22P～23Pのロータリーネットワークには、越谷南RCと春日部西RCの活動が載っておりますので、是非読んでみて下さい。

## 出席報告

仁部会員

出席免除 2名 休会 1名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
8/7	25	12	13	4	68%

## スマイル報告

仁部会員

下津谷会長→納涼会には渡辺委員長を始め関係各位、大変ご苦労様でした。

関口会員→流灯祭、雨に降られましたが、何とか終えることが出来ました。

本多会員→8月5日の夕涼み会には新井さん、井上さん、武井さん、ご協力ありがとうございました。

落合会員→私は8月1日生まれ、今月で満70歳です。昔ですと、大おじいさんですが、今は違う！まだ若い気持ちです。

武井会員→いよいよ夏本番。体調に気を付けて下さい。

中島会員→誕生祝いの会員さんおめでとうございます。暑さにご注意下さい。

田中幹事→流灯祭ご苦労様でした。

大作会員→流灯祭、無事に終わり大盛況でしたね！

以下同文→新井会員、中村会員、篠原会員、仁部会員

本日投入額 25,000円

累計額 150,000円